

2025年度 第1回番組審議会 議事録

作成 山崎 英之

日時：2026年2月12日（木）17:00～

場所：入間ケーブルテレビ 本社 3階会議室

出席委員：小林 昌幸、杉山 若江、関谷 敦子、藤田 勝仁、椎名 拓斗

欠席委員：島崎 吏、野村 ふみよ （敬称略）

放送事業者出席者：

代表取締役相談役 荻野 喜美雄、代表取締役社長 鹿倉 貞二、取締役会長 奥田 貴哉
取締役副社長 佐藤 敏光、取締役営業部長 楠見 裕、監査役 中岡 俊治
制作編成部部长 小太刀 亨、制作編成課課長 山崎 英之
制作編成課 福田 直美、制作編成課 中村 真琴

議事：

事前に各委員が対象番組を視聴し、会議当日は議題に沿って感想・意見・疑問点などを挙げて意見交換を行った。

（対象番組「新年特番」・「給食だいすき」「いるまコレクション」）

「新年特番」について

「新年特番 新春！どすこい入間 ～春の巡業が待ちきれないSP～」(特別番組 1時間番組)
放送日時：2026年1月1日～1月6日(1日1～3回放送)
内容：毎年恒例の元旦特別番組。今回は愛宕神社境内から生中継を行い、ゲストにアマチュア横綱・鮫島輝氏を迎え、4月開催の「大相撲入間場所」の見どころなどを紹介した。

(委員) コーナーごとの繋がりが薄く、展開が読めずストレスを感じた。

(委員) 過去の入間場所の映像を振り返るなどすれば、メリハリがついたのではないかと。

(委員) 映像面(逆光、ピントの甘さ)や小道具の使い方などの粗さが目立った。

(委員) MCの相撲に対する知識が乏しく、クイズコーナーでのフォローが的確ではなかった。

(委員) MCの役割が不明確だった。進行役とツッコミ役を分けるなど、役割分担を明確にしたほうが見やすい。

「給食だいすき」について

「給食だいすき」

放送日時 : 2025年11月号

内容 : 「学校給食」にスポットを当てた唯一のレギュラー番組。食事風景や調理員・栄養教諭のこだわりなど、「食」を通じた教育現場を伝えている。長期継続によるマンネリ化が課題となっている。

(委員) 今回は「給食」と「運動会」の構成比が半々だったが、もう少し給食そのものにフォーカスしても良かったのではないかな。

(委員) 物価高騰下での食糧調達之苦労や、献立の工夫などを盛り込むと、より深みのある内容になるはずだ。

(委員) 「子どもの給食」というコンテンツであり、安心して見ることができた。

(委員) 「食育」をキーワードにした「おかわりタイム」や「残量ゼロ」の取り組みなどが分かりやすく、保護者層にも喜ばれる内容だ。

(委員) 強調したいコメントには、テロップでフォローを入れると更に良くなる。

(委員) クラブ活動の紹介なども加われば、学校生活の様子がより伝わり面白いと感じる。

「いるまコレクション」について

「いるまコレクション」

放送日時 : 毎週月・木更新 2025年12月25日号

内容 : 地域密着型の情報番組。営業担当による名店紹介や、総務担当による市内の季節の話題など、部署ごとの切り口で入間を紹介。今回は入間青年会議所による茶殻を使ったギネス記録への挑戦を取り上げた。

(委員) 入間市でギネス記録への挑戦が行われていたことを知らなかったため、非常に興味深かった。

(委員) 事前に情報を知っていれば参加したかった。

(委員) 多くの人の手や知恵が関わっていることを番組を通じて知ることができた。

(委員) 記録達成後、作成された作品がどうなったのかまで知りたかった。

(委員) このような舞台裏や市民の努力が伝わる内容は、今後も番組を通じて積極的に周知していくべきだと強く感じた。

その他

(委員) キャスターによる「西洋館」のイントネーションに違和感があった。意味は通じるが、地元で親しまれている発音と異なると視聴者は敏感に反応する。

(委員) YouTubeの自動生成字幕に誤字が多かった。誤字が笑いを誘うこともあるが、情報の正確性の観点からは改善が望まれる。

(放送事業者回答) ご指摘の通り、今回はYouTubeの自動生成機能によるものである。修正は可能であるため、今後一般公開するものに関しては、字幕の精度にも配慮していく。

(委員) 匿名でもよいので、市民の声を聞く番組を作ってほしい。

(委員) 今年は市制施行 60 周年のため、姉妹都市とのつながりや風景などの特集を組んでみてはどうか。

(委員長総括) 本日は貴重な意見を頂いた。これらを参考に、今後のより良い番組制作に役立てていただきたい。

以上